はじめに

「『LL ブック』という，知的障害や自閉症などで読書活動が十全にできない人たちでも読める本が北欧にある。『LL』とはスウェーデン語の Lättläst の略語で，『やさしく読める』という意味。そのマンガ版となる『LL マンガ』を日本で作ってみよう！」

という，わりと単純な動機で「LL マンガ研究会」は 2011 年に発足しました。メンバーは LL ブックの研究者，マンガ家，大学教員，マンガ研究者，編集者たち。多様な社会構成員の活躍に向け，マンガが一つの表現としてより有用な読み物になるように，マンガが人と人とをつなぐコミュニケーションツールとしてさらに機能するようにと，この研究会にかけるそれぞれのモチベーションは高まりました。

ところが肝心の研究活動はそれほど単純に進みませんでした。LL マンガの有用性は頭ではわかるものの，実際に LL マンガを制作するとなると，議論は予想以上に混迷してしまったのです。北欧や日本における LL ブックの現状調査，マンガという表現がもつわかりやすさとわかりにくさの論理的把握，LL マンガを求める人々の多様性への理解と対応，LL マンガ制作のガイドライン作成に向けた意見調整，学会での共同研究発表，パイロット版制作とアンケート調査をふまえた修正作業など，これら一連の作業は行ったり来たりの繰り返しでした。

その経験から私たちが学んだのは，LL マンガの本編だけを出版するのではなく，研究会で繰り広げた試行錯誤の過程を具体的に示すことの方が，LL マンガの普及にとって有効ではないか，ということでした。それがまさしく本書であり，その意図は全体の構成や目次に表れています。

比喩的にいうなら，完成した料理をそのまま差し出すのではなく，どんな食材をどこから調達し，どのようなレシピや器具を使い，どれだけ味見をしたかを包み隠さず披露したうえで，ここに食べてもらう準備が整いました，という体裁になっています。もちろん「LL マンガ」という料理にとって一番大切なのは相手に喜んで食べてもらうことですから，そのためのマナーは不可欠です。

したがって，本書は，LL マンガ制作のための完全マニュアルでもなければ体系的専門書でもありません。とはいえ，LL マンガを必要とする人たちの障害や疾病の特性が多様であればあるほど，LL マンガの存在形態や存在意義は多様になりますので，その先行事例の一つとして参考にしていただければ幸いです。

本書に掲載した「赤いハイヒール」と「はだか男」は，私たちが考案した LL マンガの原点です。ここから LL マンガに対する世間の理解や関心が広がり，北欧の LL ブックと同じように，将来的に多種多様な LL マンガが国内外で読まれるようになれば，こんなにうれしいことはありません。

「LL マンガという新たなジャンルの開拓と普及によって，読書活動を楽しめる人々が世の中に少しでも増えますように」—— それが私たち LL マンガ研究会一同の願いです。

2018 年 7 月吉日

LL マンガ研究会代表　吉村 和真

もくじ

はじめに　1

1章　LL ブックとは……(藤澤)…5

1．LL ブックとは　5
2．LL ブックのわかりやすい表現　6
3．スウェーデンの LL ブックの発展　8
4．スウェーデンの LL マンガ　10

2章　本当に「マンガはわかりやすい」のか？
——マンガの「常識」を疑ってみよう……(吉村)…13

1．「マンガはわかりやすい問題」とは　13
2．『小学一年生』を手がかりに考える　14
（1）「ポケモン」を読む／見る　15
（2）少年向けと少女向けの違い　19
（3）「コナン」から学べること　22
3．マンガの「常識」を疑う　24
（1）あるポスターへのクレーム　25
（2）非〈マンガ読者〉という存在　26
4．「マンガはわかりやすい問題」の解明　28
（1）量的側面からの解明　28
（2）質的側面からの解明　30
5．マンガ研究と LL マンガ　31

3章　LL マンガを必要とする人たち —— さまざまな読者像……(藤澤)…34

1．マンガを読むことが難しい人たちとは　34
2．知的障害者にとって LL マンガとは　35
3．聴覚障害者にとって LL マンガとは　38
4．読み書き障害者にとって LL マンガとは　39
5．外国人にとって LL マンガとは　40

4章 LL マンガを描く
——「赤いハイヒール」と「はだか男」の展開 ……(都留・藤澤)… 42

1．LL マンガのガイドライン試案の模索　42
2．「赤いハイヒール」の LL マンガ化　43
（1）「赤いハイヒール」の物語とネーム作成の過程　43
（2）作品を描くパターンを選ぶための指導者への調査　48
（3）作品を描く 2 パターンの決定　51
3．「はだか男」の LL マンガ化　51

5章 LL マンガを読む —— 知的障害者への調査と評価 ……(藤澤・都留)… 55

1．「赤いハイヒール」　55
（1）描き方の違い　55
（2）調査の目的　63
（3）調査の方法　64
（4）調査結果　64
（5）考察　67
（6）まとめ　68
2．「はだか男」　68
（1）難と易の描き方の違い　68
（2）調査の目的　72
（3）調査の方法　72
（4）結果と考察　74
（5）まとめ　83
3．今後の作品づくりに向けて　85

6章 LL マンガのガイドライン —— 描くための視点と技法 ……(都留)… 87

1．マンガ特有の「約束事」に関わるガイドライン　87
2．「情報量」に関するガイドライン　91
3．高度なマンガ的演出技法に関わるガイドライン　92

用語解説　99
さくいん　102
あとがきにかえて「おまけのマンガ」
作品版 LL マンガ「赤いハイヒール」「はだか男」

1章

LLブックとは

1．LLブックとは

LLブックのLLとは，スウェーデン語のLättläst の省略で，英語では “easy-to-read”，日本語では「やさしく読める」という意味です。LLブックとは，知的障害や自閉症，読み書き障害などの障害者や高齢者，移住などにより居住する国と母語が違うなどの理由で，一般の書籍を読むことが難しい人たちに，読書の楽しみや必要な情報を与えるために，生活年齢の興味や関心に合う内容が，わかりやすく読みやすく書かれた本です。対象となる読書のニーズはさまざまなので，本のジャンルは，一般書と同じように多様であることが望まれます。彼らが平等に読書をしたり情報にアクセスできる権利を保障し，彼らの社会参加と豊かな生活の質の向上をめざしています。

LLブックの主な対象となる知的障害の人たちには，文字が読めない人や読めても内容の理解の難しい人が多くいます。また，加齢にともなって，知的年齢が上がっていかないため，生活年齢との差が開いていきます。例えば，生活年齢が20歳であっても知的年齢が5歳であると，通常の成人の読める本が読めないという問題が起こります。知的に遅れていても，20歳までの生活で身につけたことは多くあり，恋愛やスポーツ，芸能，旅行などにも興味が広がります。子どもたちが読む絵本であれば理解できるでしょうが，本当に興味のある事柄が書かれた一般書は難しくて読めません。このように大人になるほど，読める本が少なくなるため，読書への興味や要求が高まらず，情報や知識を得る機会が少なくなるという悪循環に陥ります。青年になった知的障害者の母親が，高等部になっても幼児用の絵本を与えていたことについて，「情けない気持ちだった」と言われていました。絵本じたいは，何歳になっても楽しめるものですが，小学校から高等部までずっと絵本を読んでいる状況は，不自然であり，興味の拡がりを阻害します。彼は，絵本が好きかも

しれませんが，女性や温泉などについて書かれている本も好きかもしれません。わかりやすいラブストーリーや温泉めぐりのわかりやすいガイドブック等があれば，読む楽しみが広がります。LL ブックは，年齢に相応しい興味あることや必要な情報を知る権利を保障する本だといえるでしょう。

また，移民にとっての LL ブックは，読む能力を養う目的も兼ねています。定住し，異国での生活を築くためには，移住先のことばを話したり読んだりできることが必須です。生活に直接関わることに加えて，趣味やスポーツなどの生活を楽しくさせる情報を得ることも大切です。移民の多くは，外国語の学習を積めば，能力は上がっていきます。LL ブックは，語学力が低くても，読んで楽しめる本として彼らにとって必要性が高く，LL ブックで読書する能力をつけて，一般図書を読めるようになる人も多くいます。

高齢者には，昔読んだ本や古典，昔の自然や風景や社会のことが書かれた LL ブックが好まれます。本を通して，自分の若い頃のことや，今までの人生の思い出がよみがえります。忘れられない出来事，出会った人との喜びや悲しみなどをなつかしみ振り返ることで，自分が生きてきた意味を改めて確認することができます。

2．LL ブックのわかりやすい表現

LL ブックの読者は，読む能力や読めない理由が異なります。そのため，わかりやすさへのニーズには違いがあります。すべての読者にとってわかりやすく制作するためには，いろいろなレベルを想定しなければなりません。そのなかで，共通する基本的な手法として，文章を読みやすくする，絵や写真やピクトグラムという文字以外の表現媒体を使う，耳で聞くことができる聴覚メディアを使うことが挙げられます。また，文章や絵や写真やピクトグラムをどのようにレイアウトするかということも重要です。

本書では，最も基本的な事柄を紹介します。

文章は，具体的に書きます。抽象的な意味の単語は使わずに，できるだけ日常的によく使われる単語で表現し，具体的な情報を入れるようにします。「白黒つける」「猫をかぶる」「目が笑う」などの比喩や擬人法，「これ」「そこ」などの指示語などの複雑な表現を避けます。文の構成は，シンプルになるように，1つの文に多くの情報を盛り込むことはせず，2つの情報を伝えたいときは，2つの文に分けて，1つの文が長くならないようにします。

文章のレイアウトは，行間を通常より広げ，余白をゆったりとります。数行続いたあとには，行間をさらに広くとり，行のまとまりをつくります。単語が途中で途

切れるような改行はしません。字体ははっきりとしたゴシックとし，大きさは 12 ポイント以上にします。漢字を使う場合は小学 2・3 年生までに習うものとして，ルビを振ります。物語は，時系列に沿い，場面が急に変わったり，時間が戻ったりする展開にはしません。また，物語は省略せずに，のりしろをつけて連続的に経過を描きます。人の感情も，感情が湧く理由や背景がわかるように描きます。登場人物は少なくして，複雑で情報が多いストーリーは避けます。

写真や絵は，文章の内容を明確に表すものにします。内容になかったり，内容を的確に表していない写真や絵は，混乱を招きます。文章と絵や写真の配分は，絵や写真が大きくて文がそれを補足する本（図 1－1），文章が多くて絵や写真が文の理解を助ける本があります。写真だけで表現された本（図 1－2）や，ピクトグラムを添えてストーリーや単語の理解を補助する本（図 1－3）もあります。

図 1－1 『いや』（S プランニング，2017）
知的障害のある人に，自分の気持ちをはっきり人に伝えることの大切さを表現しています。

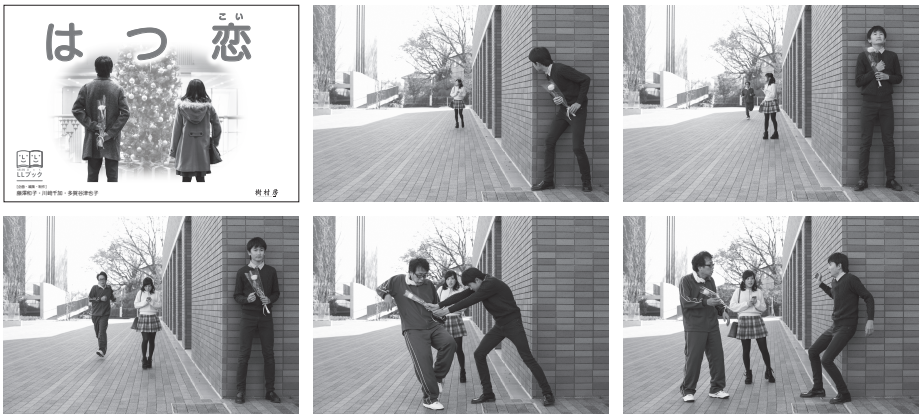

図 1－2 『はつ恋』（藤澤和子・川﨑千加・多賀谷津也子 企画・編集・制作，樹村房，2017）
四コママンガのように写真で，出会いからはつ恋が実るまでの若い二人の物語を表現しています。

図1－3 『山頂にむかって』（スティーナ・アンデション 文，エバ・ベーンリード 写真，藤澤和子 監修，寺尾三郎 訳，愛育社，2002）
スウェーデンの知的障害者のグループが，2泊3日で力を合わせて山登りをするお話です。

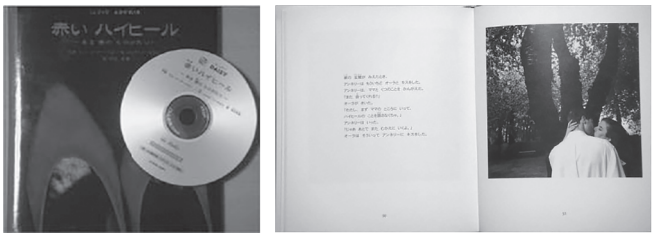

図1－4 『赤いハイヒール』（ロッタ・ソールセン 作，ビョーン・アーベリン 撮影，中村冬美 訳，（公財）日本障害者リハビリテーション協会，2006）
一人の男性を好きになり，母親から自立しようとする女性のお話です。本書巻末に掲載しているLLマンガ「赤いハイヒール」の原作です。

読者の読みの能力は個人差が大きいため，読みやすさのレベルを考慮します。大きくは3段階に分けます。

レベル1　具体的な内容で写真や絵が多い最も簡単なレベル

レベル2　レベル1より文字が多くなり，具体的な内容で日常的なことばを使用し，ストーリーがわかりやすく書かれている中間のレベル

レベル3　写真や絵は少なく，時々長い文章や抽象的なことばも使用される一般書に近いレベル

耳で聞ける録音図書や，絵と文字と音声が同期して目で見ながら音声も聞くことができるマルチメディアDAISY（図1－4）を併用することも，わかりやすさを提供します。

3．スウェーデンのLLブックの発展

海外では，国際図書館連盟（IFLA：International Federation of Library Associations and Institutions）が，「読みやすい図書のための指針」（1997）を発表し，すべての人が読書する権利をもつ必要を提唱しています。スウェーデンなどの北欧

諸国，オランダ，イギリス等ではやさしく読める本の出版が日本よりも発展しています。障害者が読書する権利を保障することは，基本的な人権の保障であり，民主主義の基本であるという認識が反映されています。

特に，スウェーデンでは，1960年代から提唱されたノーマライゼーションの考え方に基づいて，LLブックの制作と出版が開始されました。ノーマライゼーションとは，「障害をもっていても，市民として平等に権利をもち，当たり前に普通の生活が送れる社会を実現する」という理念です。障害があっても，文字が読めなくても，すべての人が読書の機会をもつことは，民主主義や正義，平等思想を実現するために重要な課題であるという認識にたっています。1960年代の後半に，司書や障害者団体から，読むことに困難がある人たちに，やさしく読めて理解できる文学が必要だという要求があがりました。政府は，彼らの主張の重要性を認め，教育庁と障害者団体，特別支援教育，教材制作等の専門家でLLグループを結成し，LLグループにより，成人の知的障害者を主な対象とした，読みやすくわかりやすい文学作品が創作され始めました。LLグループは1988年に解散しましたが，その後にLL協会が設立され，LLグループの仕事が引き継がれました。LL協会は年間約30冊のさまざまなジャンルの質の高いLLブックを出版し，社会のニーズに対応して，障害者だけでなく移民や高齢者等に対象を広げました。国立の機関ではありませんが政府が運営資金の半分を出資し，残りの半分は出版による利益で運営されました。ほかにも，わかりやすく情報を届けるための「8 SIDOR」（8ページ）というLL版の新聞を発行したり，わかりやすく読む朗読代理人制度の運営等を行いました。

2015年に，LL協会の仕事は，MTM（MYNDIGHETEN FÖR TILLGÄNGLIGA MEDIER）に引き継がれました。MTMは，アクセシブルなメディア機関という国立の官庁です。MTMは，視覚障害，ディスレクシア，認知症，機能障害（知的障害，自閉症等）の障害や高齢者，母語がスウェーデン語ではない移民等の読むことに困難のある人たちに，さまざまなメディアを使って，読書や情報を提供しています。録音図書（音声だけのものと，音声と絵や文字が同期するものがあります）の配信によって，幅広く読書支援をしています。

MTMは，ほかにも，LL協会から引き継いだ「8 SIDOR」（8ページ）のLL版新聞の発行とそのWeb版の運営，多言語に訳した本の出版，わかりやすい資料が必要とする人たちに届くように，図書館や対象グループと連携して業務を進めています。LLブックの出版は，MTMのこれら業務の1セクションとして位置づけられています。現在も，青年から成人向けのLLブックを年間30冊出版しています。また，MTMに移行してから，ほとんどのLLブックの録音図書が制作されるよう

になり，印刷された本と録音図書を併せて利用できるようになりました。

読むことに困難があることを申告して MTM に登録すると，無料で録音図書を利用することができます。診断書は必要ありません。MTM のホームページにあるリンクからオンラインサービス「LEGIMUS」（http://www.legimus.se/）にアクセスすると，録音図書をダウンロードしたり，公共図書館に依頼して録音された CD を入手することができます。

このようにスウェーデンでは，読めない人には聞くことができるシステムを整えるなど，特性に応じて本にアクセスできる体制がとられています。

2015 年前後から，世界情勢の影響で，特にシリアやイラク，アフガニスタンなどからヨーロッパへ逃れてくる難民が急増しました。スウェーデンでも 2015 年に約 16 万人もの難民を受け入れました。この変化によりスウェーデン語が読めない人が増え，語学力を育成するための本へのニーズが高まっています。児童用の読みやすい本が複数の民間の出版社から出版され，公共図書館の「りんごの棚」という子ども向けの読みやすい本の棚等に並ぶようになりました。ちょうど文字を学び始める 6, 7 歳から読めるものになっています。日本でいえば，小学 1 年生のころに読む本に，絵や写真を増やしたような本です。児童用図書として，学校の学習教材にもなっています。

4．スウェーデンの LL マンガ

本書の LL マンガは，スウェーデンの LL 協会が出版した LL ブックを原作としています。

スウェーデンの LL マンガは，LL 協会のときに作られ始めましたが，残念ながら現在まで数冊の出版にとどまっているようです。スウェーデンでは，マンガの人気が高く，書店にはスウェーデン語に翻訳された日本で人気のあるマンガがたくさん並んでいます。そのため MTM でもマンガのもつ読みやすさに関心を寄せています。

スウェーデンの LL マンガを数冊紹介します。

『今からセックスストライキだ』（図 1－5）は，大人のマンガです。戦争に反対する女性たちが，SEX を拒否することで男性の戦う意欲を喪失させ，平和な世の中を願うお話です。四コママンガではなく，絵と吹き出しから成る大人の絵本に近いものといえるでしょう。

図 1－6 の『黒猫』，図 1－7 の『シャーロックホームズ』は，日本の一般的なマンガと同じコママンガです。昔からよく知られた人気のある文学をマンガ化したも

のです。

MTM では，マンガも録音図書にしています。これは，MTM による取り組みの特徴ともいえます。図 1－8 は，マンガの画像入り録音図書を表示したモニタを撮影したものです。モニタにマンガの画像が表示され，吹き出し部分の音声が流れます。2018 年度に制作される録音図書 200 作品の内 10 作品は，大人・青少年双方向けのマンガにあてているそうです。

図 1－5 『今からセックスストライキだ』（Johan Werkmaster, Kristina Abelli-Elander, Eva Ede, *Sexstrejk nu!　Sa Lysisträte*, LL-förlaget, 2009.）

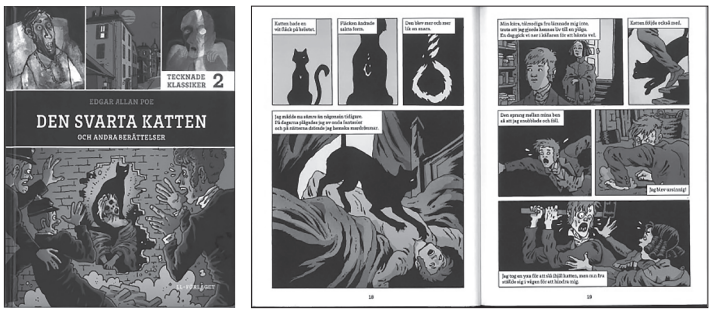

図 1－6 『黒猫』（Edgar Allan Poe, Anneli Furmark, Fabian Göransson, Joanna Hellgren, Ola Skogäng, Jens Andersson, *DEN SVARTA KATTEN*, LL-förlaget, 2013.）

図 1－7 『シャーロックホームズ』（Arthur Conan Doyle, Jens Andersson, Loka Kanarp, Knut Larsson, Jens Andersson, *SHERLOCK HOLMES*, LL-förlaget, 2013.）

図 1－8　モニタにうつるマンガの録音図書

日本では，LL ブックと冠していない図書を含めて，わかりやすく書かれた図書の出版は，70 冊程度にとどまっています。耳と目で読めるマルチメディア DAISY が付いている LL ブックも，10 作品に満たない状況です。このような日本の LL ブックの出版状況を変貌させる役割を LL マンガが担えるのではないでしょうか。日本では多くのマンガが出版され，日常的にマンガが読まれています。知的障害者にもマンガは好まれています（3 章で調査結果をもとに詳述します）。マンガが普及している日本だからこそ，LL ブックの仲間として，良質で多様な LL マンガの出版が期待されます。

2章

本当に「マンガはわかりやすい」のか？
——マンガの「常識」を疑ってみよう

1．「マンガはわかりやすい問題」とは

本章では，LL マンガ研究会の活動を通じて得られた知見や課題をふまえながら，筆者の専門である思想史・マンガ研究の観点から，一つの問いに向き合います。それは「一般的にマンガはわかりやすいとか簡単に読めると思われているけれど，はたして本当なのか」という問いです。

世間では「マンガ 日本の歴史」とか「マンガでわかる哲学」といったように，教育や情報伝達を目的とした学習マンガや実用マンガが数多く出版され，書店だけでなく図書館にも置かれています。それは出版サイドが文字だけではわかりにくい内容もマンガにすればわかりやすくなると思っているからですし，実際にその種のマンガを読んだおかげでいろんな知識や情報を得たという経験をもつ方も多いはずです。

しかし結論を先回りしますと，決してマンガはわかりやすくも簡単でもありません。文字表現と比べても，むしろ複雑な表現方法がありますし，多様な解釈が可能です。では，なぜ一般的に「マンガはわかりやすい」とか「マンガは簡単に読める」と思われているのでしょう。

実のところ，そこには一筋縄では説明できない理由があるのです。あえて要約するなら，「マンガはわかりやすくてわかりにくい」とでも表現できるでしょうか。この禅問答のような状況を，本章では「マンガはわかりやすい問題」と呼ぶことにします。そのうえで，マンガ研究の観点からこの問題に向き合い，論理的に解き明かしていくことが本章の目的となります。

その目的を達成するために，これからいくつかのマンガを取り上げて具体的に考察を進めます。それは LL マンガを必要とする人たちが通常のマンガを読む際にどのあたりで「ひっかかる」のかを予測する作業とも重なるでしょう。逆にいえば，

本来的にマンガがわかりやすくて簡単に読めるものならば，わざわざLLマンガを制作する必要はありません。その意味では「誰もが楽しんで読めるLLマンガをめざして」という本書での目的が示すとおり，「マンガは誰もが簡単に読めるものではない」という含意があります。

加えて，「マンガはわかりやすい問題」をふまえたLLマンガの考察や制作は，マンガ研究にとっても本質的な問いかけとなります。本書の読者にはLLブックはご存知でも，マンガ研究にはなじみがないという方も少なくないでしょう。そこで本章の末尾では，そもそもなぜマンガを研究する必要があるのか，そして，それがLLマンガ研究にどうつながるのかという問いにまで迫ってみたいと思います。

2．『小学一年生』を手がかりに考える

ここで考察対象とするのは，小学館の学年別学習雑誌，略して学年誌の『小学一年生』2005年3月号です。現在から約13年前のものですが，6歳から7歳の頃にこれを読んでいた子どもたちは，2018年現在では大学2年生ぐらいになります。

この小学館の学年誌は，現在『小学二年生』から『小学六年生』までが休刊していて，刊行が続いているのはこの『小学一年生』だけです。それだけ売れ行きが落ち込んだわけですが，2000年代初頭の『小学一年生』の発行部数は20万部台を維持していました。当時の小学1年生の人口は約120万人ですから，およそ5，6人に1人が読んでいたという単純計算になります。

その割合だけでも学年誌が子どもに与える影響が小さくないことがわかりますが，同じ頃の『小学六年生』の発行部数は5万部前後と，学年誌は学年が上がるにつれて発行部数が減るため，特に『小学一年生』の影響力は大きいという見立てになります。しかも学年誌は，マンガも掲載していながら，学習読物であるため大人が安心して買い与えられ，その結果，子どもがマンガの読み方を覚えたりキャラクターたちに出会ったりと，「マンガ入門」の役割を担うことも少なくありません。ただし，近年の『小学一年生』はマンガのページの割合は減っています。

そうした予備知識をふまえたところで，これから掲載マンガを読んでいくわけですが，あらかじめ断っておきたいことがあります。それは「そんなことあたりまえでしょ」と思われる箇所にあえて注目する点です。なぜなら，その「あたりまえ」という感覚にこそ「マンガはわかりやすい問題」は根差しているからです。そのため，以後の考察では，普段マンガを読むときには気にも留めないような箇所にこそこだわることになります。

（1）「ポケモン」を読む／見る

最初に取り上げるのは，ふくやまけいこ「ポケモン　ピカチュウ・ニャースの大冒険」です。スマホゲームの「ポケモン GO」でも話題になりましたが，この作品にはかわいいキャラクターたちがたくさん登場します。

出だしの場面では，右側から順にこう書かれています（図 2－1）。

ピカチュウとニャースは，ふるさとにもどってきました。
わあい，なつかしいなあ！
そうだ，きょうはポケモンまつりの日ニャよ。

「わあい，なつかしいなあ！」というのは，吹き出しの形と位置から右手前のキャラクター（ピカチュウ）のセリフだとわかります。一般的に，発話者の方に吹き出しの尖った部分が向きます。その左にある「そうだ，きょうはポケモンまつりの日ニャよ。」は，吹き出しに加え「ニャ」とあるので，この猫に似たキャラクター（ニャース）だとわかります。ただよく考えると，「ニャ」が猫の鳴き声であるという理解は日本だから通用するだけです。同じように，犬は何と鳴くかと問われたら「ワン」と答えるでしょう。でもそれは，マンガだけでなく絵本やアニメなどを通じ，犬が鳴くときは「ワンワン」という音や文字を目や耳にしているからであり，本当に犬が「ワン」と鳴いているかどうかとは別の問題です。例えば，幼い頃からアメコミを読んで育った人であれば，犬の鳴き声は「ワン」ではなく「バウワウ」と答えます。そう書いてありますので。要するに，動物の鳴き声一つをとっても，生まれ育った環境や慣れ親しんだメディアによって，その聞こえ方や表現の仕方は異なってくるわけです。

ひるがえって，右上の「ふるさとにもどってきました」には，さらに注意が必要です。これはいったい誰のセリフでしょうか。正解はキャラクターのセリフではなくナレーションになります。なぜなら，文字が四角の線で囲まれているからです。ここまではわかりますよね。

では，なぜ文字を四角の線で囲うとナレーションになるのでしょう。どこかでそう習いましたか？　もちろん，学校で先生が教えてくれるわけではありませんよね。実のところ，自分でマンガを読んだり周囲が読み聞かせをしてくれたりするうちに，いつのまにか「そういうもの」と受け入れた結果に過ぎません。ただし，まさにその「無自覚さ」がポイントになるのです。

LL マンガ研究会メンバープロフィール

吉村 和真（よしむら・かずま）

立命館大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学，修士（文学）。日本学術振興会特別研究員，京都精華大学表現研究機構マンガ文化研究所研究員，京都精華大学マンガ学部准教授を経て，現在，京都精華大学マンガ学部教授。専門は思想史，マンガ研究。主著に『差別と向き合うマンガたち』（共著，臨川書店，2007），『知のリテラシー・文化』（共著，ナカニシヤ出版，2007）『複数の「ヒロシマ」：記憶の戦後史とメディアの力学』（共編著，青弓社，2012）がある。
執筆分担：はじめに，2 章，用語解説

藤澤 和子（ふじさわ・かずこ）

同志社大学大学院文学研究科教育学専攻博士後期課程修了，博士（教育学）。京都府教職員（言語障害通級指導教室，特別支援学校等）を経て，現在，大和大学保健医療学部教授。専門は言語コミュニケーション障害学，特別支援教育。主著に『はつ恋』（共企画・編集・制作，樹村房，2017），『視覚シンボルによるコミュニケーション支援に関する研究：日本版 PIC の開発と活用を通して』（風間書房，2011），『LL ブックを届ける：やさしく読める本を知的障害・自閉症のある読者へ』（共編著，読書工房，2009）がある。
執筆分担：1 章，3 章，4 章 2⑵⑶，5 章 1⑵〜⑹・2⑵〜⑸・3，用語解説

都留 泰作（つる・だいさく）

京都大学大学院理学研究科動物学専攻博士後期課程研究指導認定退学，博士（理学）。富山大学人文学部助教授，京都精華大学マンガ学部助教授を経て，現在，京都精華大学マンガ学部教授。専門は文化人類学，マンガ作家。主著に「ナチュン」（講談社），「ムシヌユン」（小学館），『〈面白さ〉の研究：世界観エンタメはなぜブームを生むのか」（角川書店，2015）がある。
執筆分担：4 章 1・2⑴・3，5 章 1⑴・2⑴，6 章，用語解説，作品版 LL マンガ「赤いハイヒール」

松井 仁美（まつい・ひとみ）

京都精華大学マンガ学部非常勤講師，漫画家
執筆分担：作品版 LL マンガ「はだか男」，あとがきにかえて「おまけのマンガ」

岩澤 亜希（いわさわ・あき）

岩澤企画編集事務所代表
マンガ編集：作品版 LL マンガ「赤いハイヒール」「はだか男」

De röda skorna - en kärlekshistoria
Copyright © by Björn Abelin
Japanese translation rights arranged with Björn Abelin
through Japan UNI Agency, Inc., Tokyo
Copyright © by Lotta Thorsén
Japanese translation rights arranged with Lotta Thorsén
through Japan UNI Agency, Inc., Tokyo

En naken karl by Johan Werkmäster
Copyright © 1998 by Johan Werkmäster
Japanese translation rights arranged with Johan Werkmäster
through Japan UNI Agency, Inc., Tokyo

障害のある人たちに向けた
LL マンガへの招待 ── はたして「マンガはわかりやすい」のか

2018 年 7 月 30 日　初版第 1 刷発行

〈検印省略〉

編著者© 吉村和真
藤澤和子
都留泰作

発行者　大塚栄一

発行所　株式会社 樹村房
JUSONBO
〒112-0002
東京都文京区小石川5-11-7
電　話　03-3868-7321
ＦＡＸ　03-6801-5202
振　替　00190-3-93169
http://www.jusonbo.co.jp/

印刷・製本　亜細亜印刷株式会社

ISBN978-4-88367-285-1　乱丁・落丁本は小社にてお取り替えいたします。